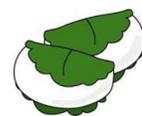


依知小だより

平成30年度
第5月号
厚木市立依知小学校
発行責任者
荻野 浩文



～人間関係づくり～



校長 荻野 浩文

5月になり暖かな日差しを受けて、校庭の樹木も緑が一段と濃くなりました。早いもので新年度がスタートしてから1カ月が経ちました。大型連休も終わり、子どもたちは生活のリズムを取り戻そうとしているところです。先日は授業参観、懇談会、PTA総会にご参加ありがとうございました。また今週はお忙しい中、家庭訪問にご協力いただきましてありがとうございます。時間も限られていて、なかなか十分な話し合いは難しいとは思いますが、これを機会に担任とよりよい関係をつくっていただければと考えています。何か心配ごとがありましたら、どうぞ担任または学校にご連絡ください。



なかよし班顔合わせ

さて、本校の特色ある活動のひとつに、1～6年生のたてわり活動を実施しています。登下校班やなかよし班活動、この時期には、6年生が1年生の給食や清掃にもお手伝いをしています。上級生が優しく1年生の面倒をみる姿が見られ、ほほえましく思います。様々な活動を通して、たてのつながり(人間関係)を深め、さらに高学年のリーダー性を育てていきたいと考えています。また、引き続きあいさつ運動の推進に取り組んでいきます。「おはようございます」だけでなく、「こんにちは」「ありがとう」等のあいさつは、良い人間関係を築くのに、とても大切なものです。子どもの世界でも大人の世界でも、コミュニケーションが十分取れていないために、誤解が生じることはよくあることです。そのコミュニケーションのきっかけとして、あいさつは大きな役割を發揮します。ただ、あいさつというものは、一朝一夕に身につくものではありません。幼いころからの家庭や周囲の人間関係、働きかけが大きく影響します。そして、幼いころに身に付いた習慣は、大人になってからも持続するとされています。

先日、朝の見守り活動をしている地域の方から、「6年生の〇〇君は、あいさつがとても良くなったね。」とお褒めの言葉をいただきました。地域でも子どもたちの成長を見つめ、働きかけてくださる方がいらっしゃることにありがたいと思えました。学校でも家庭でも、まず大人である私たちが働きかけの機会を考え、繰り返しあいさつの必要性とやり方を話して聞かせることは、大切なことだと思います。共に子どもたちを育てていきましょう。ご協力お願いいたします。



あいさつ運動(運営委員会)

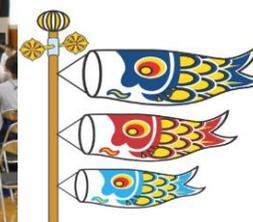
授業参観・懇談会・PTA総会



教頭 堀江 理佐子

4月28日(土)は、今年度はじめての授業参観・懇談会でした。天気の良い土曜日ということもあり、多数の保護者の方、ごきょうだいの方が来校され、子どもたちの頑張る姿を見守ってくださいました。授業の後は懇談会で、担任からの自己紹介や今後の予定など、短時間ではありましたがお話をさせていただきました。ご参加いただきありがとうございました。

体育館で行われたPTA総会では、29年度の本部・各役員さんによる報告、新役員の承認、30年度の事業計画・予算案、規約の改正、個人情報の保護・管理に関する規約案などについての承認がなされ、最後に職員の紹介もありました。



依知中吹奏楽部演奏会

これまで2学期に実施していましたが、今年度は、4月の授業参観の土曜日の午前中に、依知中吹奏楽部のみなさんが、体育館で演奏会を開いてくださいました。みんなが良く知っているアニメソングや映画の主題歌などを目の前で演奏しているのを聴いて、思わず身を乗り出している子どもたちでした。



ボランティア説明会

5月1日(火)に学校支援ボランティア説明会を開催しました。今年も、おはなしポケット(読み聞かせ)、花植え隊、授業支援ボランティア、外国語協力隊、見守り隊の皆様にお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

